

樹姉ばより

No.136
2016.2



慈悲喜捨

笑門来福

笑う門には福が来る
睦月とも言われる一月を、家族、親類縁者が集い、新年を祝い、仲むつまじくお過ごしのことと思ひます。正月は楽しい、心と和む一時でもあります。笑顔ばかりでなく、微笑みにも、次のように素晴らしい効用があることを知りましたので紹介します。

「ほほえみ」

ロバート・バー

ほほえみは、お金を払う必要のない安いものだが相手にとっては非常な価値を持つ。ほほえまれた者を豊かにしながら、ほほえんだ人は何も失わない。

フラッシュのように瞬間に消えるが記憶には永久にとどまる。

お金があってもほほえみなしには貧しく、貧しくてもほほえみのある家は豊かだ。

ほほえみは家庭には平安を生みだし、社会を善意に満ちたものに。二人の友の間では友情を深くむ。

疲れた者には休息を与え、失望するものには光となり、悲しむものには解毒剤の役割を果たす。

しかも、買うことのできないもの、頼んで得られないもの。

借りられもしない代わりに盗まれないもの。

なぜなら自然に現れ与えられるまでは存在せず、値打ちもないからだ。

もしあなたが誰かに期待してほほえみがえられなかったら不愉快になるかわりにあなたの方からほほえみかけてごらんさい。

実際ほほえみを忘れた人ほどそれを必要としている人はいないのだから。

人間である以上、いつも穏やかという訳にはいきません。思うように事が運ばず、イライラすること、体調が優れず憂鬱になることもあれば、心ない人の言動に傷つけられることもあります。

非常に難しいことです。が、暗い顔をし、相手を暗くすることは避けたいと思っています。この詩との出会いによって、笑顔へと、微笑みをたたえた面容へと、転換したいのです。また、生徒達と共に、毎朝拝読している『樹妙』にも

慈眼

心笑えば眼も笑う

とあります。仏や菩薩様の微笑みは衆生をお救いくださる慈悲の眼です。眼は心の窓、微笑みをたたえ過ぎるのです。

教頭 尾内 正彰

両面から 物を見る

明照学園理事長
野口 秀樹



一年で最も寒い二月を迎えました。体調管理に心掛けて、ファイトで切り抜けていきましょう。

大学、高校、中学と、いずれも入学試験の時期です。それぞれが自分の未来に向かって意欲的にチャレンジする時、いわば寒さを感じる季節ではなく、燃える季節とも言えるでしょう。皆様、今もよろしくお願いします。

*
「心ここに在らざれば、視れども見えず、聴けども聞こえず。」

小学校二年生の時に、担任の先生に教えられた言葉です。今から考えると随分難しい言葉を教えてもらったものです。ですが不思議

なことに、成長の過程の節目の時、必ず思い出す言葉となりました。そして、意味を確認する習慣ができてしまいました。私は諺として覚えてしまったのですが、諺ではなく名言(儒教の経書の一つ、『大学』より)だそうです。

日本の子供達は、必ずいくつかの諺を祖父母や両親から聞かされて育ってきている、そんな気がします。それは私達の年代にとどまることなく、今の子供達であっても、一つや二つは諺を答えることができるでしょう。

最近、諺に関する矛盾に気がつきました。例えば「急がば回れ」と、「善は急げ」。「立つ鳥跡を濁さず」と、「旅の恥はかき捨て」。これらは、正反対のこと言っているのではないのでしょうか。そして両方とも真理であると思うと、これらの諺を考えた日本人は面白すぎます。

「二兎追うものは一兎をも得ず」と、「一石二鳥」。「虻蜂取らず」と、「一石二鳥」。「二兎追うものは一兎も得ず」と、「下手な鉄砲も数

撃てば当たる」。これらはすべて同じ事を言っているようです。

他にも、「君子危うきに近寄らず」と、「虎穴に入らずんば虎児を得ず」。「大は小を兼ねる」と、「山椒はぴりりと小粒で辛い」。調べましたらまだまだあるのです。「勝てば官軍」と、「正義は勝つ」。「類は友を呼ぶ」と、「群鶏の一鶴」。「蒔かぬ種は生えぬ」と、「棚からぼた餅」。「善は急げ」と、「急いてはことを仕損じる」……。

この現象をよく考えてみると、日本人は一方ばかりでなく「両面から物を見る」柔軟性を持っている。そんなことが言えないでしょうか。

こんな説話を聞いたことがあります。

目の不自由な人が友人の家から帰る時に、「夜道ですから提灯をお持ちなさい。」と友人に言われました。すると彼はムツとなって「目の不自由な私に、どうして提灯がいるのですか! からかつちやいけません。」と怒ったのです。もしも目が不自由な私が

この場面に出くわしていたとしても、やはり「俺をバカにしているのか。」と怒ったことに違いありません。

ところがそれに対して友人は次のように答えるのです。「あなたには提灯はいらないかもしれないが、あなたが提灯を持っておられないと、目に見える人にはあなたがわからず、ぶつか

濱田庄司氏などとも、交流のあった方です。
その河井寛次郎さんの言葉に「鳥が選んだ枝 枝が待ってた鳥」と言うものがあります。

この言葉を知ったとき、私は圧倒されました。私の世界観の中では、「鳥が選んだ枝」しか考えられなかったのです。

もしかすると、「枝が待ってた鳥」に真実があるのかもしれない。または啐啄同時ではありませんが、両方からの働きかけの結果なのかもしれません。

多面的なものの見方は成長の証しだと思っています。人間関係において相手の立場になつてものを考える姿勢、これは思いやりの心から生まれるのでしょうか。実践しなければと思います。

合 掌



思ったら動かないと

形にならない

「幸運を掴まえる能力」

「セレンディピティ」という言葉がある。

イギリスの政治家、小説家であるホレス・ウォルポールが一七五四年に生み出した造語である。「素敵なものに出会ったり、予想外のものを発見したりすること」「何かを探しているときに、探しているものとは別の価値があるものを見つけること」「ふとした偶然をきっかけに、幸運をつかみ取ること」という意味がある。「幸運を掴まえる能力」を指す場合もある。二〇一〇年にノーベル化学賞を受賞した、北海道大学の鈴木章名誉教授の会見での話にも出てきた、研究者にはよく知られた言葉である。

湧いてくるようなイメージを抱く人もいるが、鈴木章教授は、セレンディピティについて「大きな発見は偶然からやってくる。チャンスはだれにも平等にある。チャンスを生かすためには、注意深い心、努力すること、それに謙虚に考えることが必要だ。努力がなければ、幸運の女神がほほ笑むことはない」と話している。偶然や奇跡は、決して都合良く起こるわけではなく、相応の努力と心の準備が必要だ、ということである。

いつどんな形で自分にとってのチャンスが訪れるかは、誰にもわからない。いつ誰に出会って、人生を変えるような影響を受けるかも、わからない。大切なチャンスに、大切な出会いに気づけるかどうかが重要なのであり、気づこうとする気持ちが必要なのである。

その時が訪れるまで、パズルのピースをなくしてはいけない。もしそれが、今は何に使うものなのかわからなかったとしても。ひとつも無駄なことなどなく、全てが重要なのだ。たとえ一%の可能性でも、それを四百五十九回繰り返せば、九十九%成功する。

例えば百本中一本の当たりが入ったくじ引きをするとして。一回目で当たる確率は一%、はずれる確率は九十九%である。このくじ引きを何度も元に戻し、繰り返してみる。

何度やってもその一回だけを見れば、はずれる確率が九十九%であることは変わらない。

ここで、これを繰り返すことは意味のないことだと、切つて捨てる人がほとんどかもしれない。しかし、実は、この積み重ねにこそ意味があるのだ。

一回目も二回目もはずれる確率は、 $0.99 \times 0.99 = 0.9801$ 、約九十八%となる。

つまり、二回の中で当たりを引く確率が約二%ということになる。二回繰り返すことにより、当たる確率が上がったという見方もあるだろう。

同様の計算をしていくと、三回目まではずれ続ける確率は、約九十七%。これを五十回目までやれば約六十%、百回目では約三十七%、と、徐々にはずれ続ける確率は下がり、どこかで当たるという確率が上がっていく。

そして、四百五十九回目ですべて、はずれ続ける確率は一%を切り、成功率が九十九%に達する。ここまですべて続けることができれば、数字の逆転が起こるのだ。

いかに数字の上では正解であっても、一%の可能性も、ほぼ確実に実現がでる「などと言え、おかしなことを言っている」と非難されるだろう。

しかし、世界の多くの人々を救う発見をする人、常識を覆す発明をする人は、切り捨てることなく、微々たる可能性を信じ、途方もない努力を繰り返すことにより、この「二%」を実現してきたのである。

大抵の人は、やる前に諦めてしまう。やり始めることが出来ても、五十回百回と良い結果が出なかったとしたら、それ以上続けられない人が、どのくらいいるのか。何かを成し遂げるためには、楽な道などない。時には、いや常に我慢が必要なのだ。絶対に成し遂げたいと思うのならば、努力し続けなければならない。

自分は、生きている間に、生徒に何を残せるだろうか。生徒の可能性を信じ、生徒のために全力を注ぎ続けること。それが私の仕事であり、人生そのものである。ここに今生きていることが私にとっての幸運なのだ。

(数学科 田島 遼也)



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

- 樹徳コミュニティセンター「み法」
12月の行事予定
- (1)アートスクール「編み組み教室」
主催 野村ナナ子さん 4日・18日(木)
 - (2)七草ゼミナール塾
主催 上野文雄さん 26日(金)
 - (3)販売実習(6・13・20・27日の各土曜)
①「相田みつを美術館」取扱い商品
②「星野富弘美術館」取扱い商品
③東北復興支援商品(缶詰、海産物等)

インターアクトクラブの歳末助け合い募金 善意の浄財百十八万円

『歳末助け合い
募金活動を終えて』

IAC会長
募金活動を終えて

3年S組 小金井 遼



樹徳高等学校インターアクトクラブの歳末助け合い募金活動が、さる十二月一日から二十七日までの活動期間を終え、無事に満了することができました。

募金活動は、学内はもちろん、街頭ではヤオコー相生店様・境野店様の前行っていました。約一ヶ月にわたる活動

でお願い致しまして、誠に申し訳ないが、総額は、百十八万三千六百七十円となりました。



街頭募金の様子

りました。皆様のお陰さまで、目標額としていた百万円を大きく上回ることができました。

ご支援下さいました方の中には、毎年私たちが活動していることを覚えていて下さり、この日のために一年間蓄えた多額の浄財をお預かりした方も複数名いらっしゃいました。

私たちは今年の歳末助け合い募金活動を担当しますが、これは過去の先輩方の活動が街の方々の記憶に残り、ご支援へとつながったのだと感じ、改めて多くの方々に支えられている活動であるとの認識を持つことができました。

した浄財は、昨年の十二月二十八日に、全額を桐生市社会福祉協議会に納金させていただきました。皆様からのご



桐生南RCの皆様との募金活動

支援が、必要とされる方々に届けられることで、地域の福祉の一層の向上に結びついていくものと確信しています。

毎年の恒例行事となった、樹徳高等学校インターアクトクラブの歳末助け合い募金活動へお寄せいただきました、皆様のご支援に改めて感謝申し上げますと共に、今後とも活動へのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

合掌

□ センター試験出陣式



一月七日の始業式の終了後、いよいよ迫る今年の大入学試験センター試験突破を

目指し、学校長からの激励の言葉をいただいた後、三年SS組の五十嵐靖明君から決意表明が発表されました。受験生が三年間培ってきた学びの全てを存分に発揮できますように。

□ 校内書き初め大会



今年も校内書き初め大会が盛大に開催されました。参加者それぞれが「書き初め」を通じて、健全な心身

と豊かな心情を養い、併せて、伝統文化への理解を深める新年恒例の行事です。

- 学校長賞 二年SS組 中野 雄斗
- 最優秀賞 二年k組 増尾 莉菜

□ 鏡開き

鏡開きとは神仏に感謝し、またその供えられたものを頂くことで無病息災などを祈るものです。今年も家庭科コースの生徒が運動部の生徒の活躍を願い、おいしいお汁粉を振る舞いました。



匠巻の演武



おいしいお汁粉
ありがとう！

新年の行事、
今年も華やかに。



受験生へのメッセージ

進学コース・一貫校の担任団から、受験を迎える三年生へのメッセージです
全員が目指す進路に合格できることを、全職員も祈っています



三年K組担任 古澤 孝

センター試験を終えると、ほっとする間もなく二次試験や私大の入試が始まる。

野村陽一氏（花火師）の言葉に「一度安易な道を選んだ人間は、二度と高みを目指せない」とある。入試における大敵は、誰でもなく、自分である。最後まで自分を信じてやり遂げてほしい。

また、二宮尊徳は「積小為大」と説いている。自分を信じて、すなわち信頼という大きな財産は、小さなこと、日々の積み重ねによる。これからも焦ることなく、日々の小さな妥協を許さないこと、きちんと一つ一つ履行することが成功への近道である。

君たちならば、今まで通りに一つ一つ確実に積み上げ、きつと大輪の「花火」を打ち上げてくれるだろうと心から信じている。

三年SS組担任 塚田 政利

一般には「結果が全て」である。確かに入学試験の結果で合格になる。しかしその結果を得るには「正しい過程」が絶対に必要だ。皆さんが学んでいる教科書の知識という「結果」は確かに大事である。血肉となるであろう。しかしもっと大切なのは、その知識を得るために必要な「過程」だと思ふ。

「正しい過程」には、その「目的」が正しく設定されている必要がある。皆さんの目標は明らかだ。しかし、その目的は何だろう。私は、皆さんが社会に貢献する人材になることだと思う。目標は達成されるとは限らない。しかし、正しい過程であったならもっと魅力的な目標が目の前に現れる。これからの皆さんの活躍を大いに期待しているのである。

三年k組担任 広井 勉

この時期最も大切なことは、自分の力を信じていること。自分の学習の足跡であるノートを読み返し、使った慣れた問題集等を解き直してみてください。受験生のみなさんに、満開のサクラが咲きまうようにお祈りしております。

以下に受験生の四つの心得を伝えます。

①団体戦

「心の友

春風を背中に受けて／平らな道を歩く時ばかりは／ありません／冷たい北風に／立ちむかって／けわしい坂道を／歯を食いしばって／登らなければならぬ時が／あります／そんな時に／暖い手をさしのべて／はげましてくれるのが／心の友というものです」

②平常心

「朝は遠くない／耳をすませ心をしずめよ」

③思いやり

「他人の幸せを喜べる人でありたい」

④最後まで絶対に諦めない
「己にかつ／おのれより大なる敵はない」

3年S組担任 村上 大祐

入試当日。誰でもいざ試験となれば緊張はピークに達し、不安も募る。そんな時、いつも通り……。そう、いつも通りの平常心で試験に臨むことができればベストな状態で試験に対処できるだろう。

ではどうすればいいのか。もし君が高ぶる緊張をほぐしたいなら、これまで繰り返し努力してきたボロボロの受験参考書でも見ていればよい。自分が努力してきた日々が思い返され、内容を確実に理解している自分に気づくはずだ。

そうこうしているうちにほら、始まりのチャイムだ。え？ 全然心が落ち着かない？ それは残念ながら君の準備不足だ。心のざわつきは試験が始まるまでのこと。開始後はいつも通りの平常心だ。後は今の君にできる全てを存分にぶつけてくる、ただそれだけ。

6学年主任 福田 肇

あなたが人生で出遭うであろう様々なイベントのうち——いつも言っていることですが——「受験」は、努力がほぼ100%報われる特権的な経験であると言えるでしょう。「就活」の成功には、もちろん学内成績や学内・学外諸活動での実績も反映されますが、努力だけではどうにもならない「不透明な」部分——面接での偶々の高評価、コネなど——が一定の割合で介入します。「恋愛」に到っては、あなたの努力はほとんどその成就には反映されません（その意味で巷の恋愛指南書は凡て論理的に矛盾しています）。つまり、あなたが合格したい大学が要求する水準の知識を、その習得に必要な時間だけ費やして獲得し、その知識を試験で披露すれば、あなたは間違いなく合格します。受験とはただそれだけのものです。



一貫校 中学校 だより

◆音楽部定期演奏会

一月十日に、音楽部第七回定期演奏会を開催致しました。約四三〇名という大勢のお客様に見守られる中、定期演奏会を無事に終えることができ、本当に嬉しく思います。毎年このように定期演奏会が開催できるのも、ご指導・ご支援して下さる先生方・先輩方・保護者の方々・地域の皆様のおかげです。そして、一年間音楽を共に楽しみ、一所懸命努力してきた仲間達に感謝します。



私は、この一年間音楽部の部長をやらせて頂きました。正直、楽しいことばかりではなく、辛いことも沢山あり、悩むこともありました。しかし、この一年間を乗り越えられたことは、自分にとっての大きな自信になりました。三年間ご指導して下さい、素晴らしい思い出を与えて下さった顧問の石内先生、感謝の気持ちで一杯です。音楽部で学んだ沢山のことを、今後の生活に役立てていきたいと思っています。最後に、これまで支えて



下さった皆様、本当にありがとうございました。これからも一所懸命頑張りますので、応援よろしくお願い致します。

音楽部部長 関口未羽

WSL二〇一五

一月五日〜六日に「WSL（ウィンタースペシャルレーニング）二〇一五」を実施しました。これは、夏に実施したSSLの冬バージョンで、さらなる学力向上を目的とした優待合宿です。伊勢崎市青少年育成センターにて、「学習」のみならず、「集団行動」や「野外活動」等多くを学ぶことができました。参加生徒の感想を紹介します。

○今回が初めての合宿で、前日までとても心配でした。学習面では、ハイレベルな講義で最初は不安でしたが、先生の話を聞いていくうちに内容が理解できるようになりました。生活面では、全体での



集団行動や就寝準備等に課題があると感じました。誰かがやるからでなく、自分から率先して行うことの重要性を学びました。また、焼き芋作りでは、学年全体が協力して作ることができました。次回もこの合宿に参加したいです。

一年二組 飯泉涼也

○前回の合宿でも感じたことですが、どの教科も先生方が本当に丁寧・親切に教えて下さり、一つひとつが新発見となり楽しかったです。行動面では、何をすることも三年生がリードしてくれて助けられました。同時に、私が三年生を手伝った部分もあったので、そこ

のは反省点です。これからも十位以内を目指して勉強を頑張っていきたいです。



またこのような合宿をやってほしいです。

二年一組 渡辺 蘭

○今回の合宿は、全体統括の役目も担いました。授業については、内容や進度がいつもと違いました。が、つまずくこともなく良かったです。行動面では、男子は全て同じ部屋だったので、ほぼ全員が時間までに片付けをし、その後の動きをスムーズにすることができました。

一泊二日と短い期間でしたが、とても充実した合宿で楽しかったです。

三年一組 長尾 光生

平成 28 年度 樹徳中学校第 3 期入学試験

試験日 平成 28 年 2 月 6 日(土)
出願期間 2 月 2 日(火)～2 月 4 日(木)

いよいよ最終の入試になります。
出願はまだ間に合います！

お問い合わせ・お申し込みは、
Tel 0277-45-2257

幼稚園だよい

進級・卒園に

向けての二月

小寒から大寒を過ぎ、厳しい寒さが続く二月を迎えました。子どもたちは、雪の積もった園庭に飛び出して、元気にいっぱい園生活を楽しんでいます。

今年ハエルニーニョ現象が続く、太平洋側でも雪が降ると言われていますが、一月は十八日、二十日、二十三日と園庭に雪が積もりました。子どもたちは、先生や運転手さんと「雪だるま」や「かまくら」を作って遊びました。

「手が冷たい」と、泣く子や転んでしまった子もいましたが、自然の厳しさを五感を通して体験し、先生も五感を通して子どもと交流することにより、豊かな情緒が子どもに育つなど、



かまくらをつくったよ

貴重な雪遊びを体験することができました。これからも、雪に限らず自然に恵まれた園環境を利用して、五感を通しての交流や体験を増やし、豊かな情緒を育てていきたいと思っています。

「愛の足りない

証拠」



ほんばんにむけて、いっしょけんめい!

自分はこれほどまでに尽くしているのに、先方はそれほどまでに思っていないとうらむことは人の癖です。これは親子、兄弟、夫妻の間でもあることです。が、先方も恐らく同じように思っているのではないのでしょうか。人を愛してもその愛が足りない証拠だと知ることが大切です。自分の心づくしに感じる者がいないからと結論づけることはあまりで、これはまだ尽くす余地があるということを知らなければなりません。

我が恩を仇にて返す
人あらば

またその上に

慈悲をほどこせ

(新渡戸稲造「一日一言」)

一月は往ぬ、二月は逃げる、三月は去ると、冬の終わりの早さを表しています。春の足音に耳を澄まし、あるいは何かと行事の多い気ぜわしさに吐息をもらし、時の過ぎる早さに、少々焦りを感じています。

一月は発表会の練習に始まり、三十日(土)の発表会とあつという間に過ぎ去りました。園としては一年間の総仕上げとして、練習や発表を通して、子どもたちの成長を、保護者・ご家族の皆様に見ていただきました。

年少さんは、自分の世界を広げ、年中さんは共有性が芽生え、年長さんは友達や仲間の中で気持ちや寄せ合い協力する姿が育つなど、目的を達成することができたと思います。しかし、卒園・進級を間近にして、まだやらなければならぬことがいっぱいあります。

ります。「愛の足りない」ことのないよう、一人ひとりに目を配り、卒園・進級のための準備(指導・支援)に全力で取り組む二月にしたいと思います。

ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

入園願書受付中

◎四月入園児、満三歳(二歳児)入園児の願書を随時受け付けております。(三月末日まで)

◎二歳児でも入園を受け付けています。是非お問い合わせください。

◎働くお母さんも安心して預けられるよう、午後六時三〇分まで預かり保育を実施しております。

◎送迎は園バス(三台)で安心・安全です。

◎平日はいつでも見学できます。また、水曜日は遊び教室を開放しています。子どもさんと一緒にお出かけください。

◎まずは左記にお電話くださるか、直接ご来園ください。職員一同お待ちしております。

お問い合わせは

0277-533-5572

詳細はWEBサイトで

<http://www.jutoku.ed.jp/kinder>

2 月（忍辱）の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	月	代休 (1/31分)	あいさつ運動	代休（なかよし発表会） 預かり保育
2	火	一般入試審査会 珠算練習開始	願書受付（～4日）	桜木地区環境よくする会
3	水	校内基礎学力テスト③ 1年生スキー教室一斉指導 マイトリー基金抛金日 県校長会	中1 節分会	大善寺節分会
4	木			体育（全） 文字と数（年中）
5	金	授業料納入日（3年2・3月分） 第3回諸費納入日 担任宛成績提出（3年）	漢字検定③	保育料納入日 入園生活説明会 母の会新年会
6	土	2年河合全統マーク模試（～7日）	中学第3期入学試験	
7	日			
8	月	LHR 3年生登校日 教務宛成績提出（3年）	あいさつ運動	リズム（全） 線（年少）
9	火	一般入試合格発表 卒業褒賞関係候補者成績会議	合格発表	
10	水	後援会役員会④	入学手続き（～12日）	英語（全） 文字と数（年長）
11	木	建国記念の日		
12	金	卒業成績会議(15:00～)	中3語学研修発表会	2・3月生まれ誕生会
13	土	数学検定②	入学説明会② 数学検定③	
14	日	全経簿記検定 堀マラソン	堀マラソン	
15	月	LHR 1年生男子スキー教室（～16日）	ミニマナーアップ運動 あいさつ運動	リズム（全） 線（年少）
16	火		中2立志式	涅槃会（大善寺）
17	水	1年生女子・SSスキー教室（～18日）	中1・中2スキー教室（～19日）	英語（全） 文字と数（年長）
18	木			体育（全） 文字と数（年中）
19	金			
20	土	英語検定③二次		
21	日	日商簿記検定③		
22	月	朝礼 学年主任会⑨	あいさつ運動	リズム（全） 線（年少）
23	火	写真撮影（1・2年生） 珠算競技（～25日）		新入園児入園体験日
24	水	ITS研修⑤		お茶のお稽古（年長）⑦ 英語（全） 文字と数（年長） 園長研修会群私幼総会
25	木	女子制服アフターサービス		体育（全）文字と数（年中）
26	金	漢字練習開始 卒業式会場作成 出欠統計		
27	土	第2回入学手続き 職員出勤日	新入生保護者学習課題相談会	
28	日			
29	月	卒業式予行演習 予餞会	早朝自主学习（～3月9日）	リズム（全） 線（年少）

※ 2日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

[Web] www.jutoku.ed.jp [Mail] office@po.jutoku.ed.jp

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

発行責任者 野口 秀樹
印刷所 太陽印刷工業株

夢は大きく 根はふかく